

昭和肥料ニュース FAX版



窒素不足？ 硫黄不足かもしれません

先日の農業新聞に水稻の生育不良の一因として「硫黄不足」が取り上げられていました。概要は、硫黄を含まない肥料（一発、ペースト）の連用で硫黄不足になるが、症状が窒素不足と似ており気がつかない→分けつ不足で減収となる。対策は石こう（硫酸カルシウム資材）の50～100kg/反施用。実施により収量が大幅改善した。との内容です。

硫カルの施用技術を再確認！

弊社は以前から、硫黄欠乏による減収対策として硫酸カルシウム資材をオススメしてきました。実際の使用者様の経験から、弊社製品では40kg/反の使用で生育改善・増収事例が多いです。（弊社品は少なめ施用量で効果的）

硫カルは水稻では施用する時期で期待される効果が変わるようです。

【分けつ期の施用】・・・分けつ促進に有効です。

①硫黄補給②地力窒素発現促進③発根促進 が働くようです。

※5年以上一発肥料のみの圃場の硫黄不足の改善に寄与します。

（初期生育が優れない時には、反30～40kgの施用）

【分けつ確保後の施用】・・・倒伏軽減、食味向上に有効です。

①下位節間の伸びを抑える②光合成産物の転流促進 が期待できます。

倒伏軽減、食味向上に役立ちます。暑い中の散布作業ですが見返りは大！

（出穂前45日頃に反40kgの施用がオススメ）

※地力が高い圃場では多くやりすぎると地力窒素発現の影響で倒伏、食味低減するケースあり、反40kg程度の施用をおススメします。

肥料高騰！コスト最適化の施肥を

高騰するNPKの有効利用に、硫カルの追肥、育苗箱での施用などがトータルコスト、収益面でも有用です。

上記は水稻の事例ですが、畑作・果樹においても堆肥使用の減少やロングタイプ肥料の連用で「硫黄欠乏」が問題になっています。そんなときには弊社資材をお役立てください！



速効！硫黄補給に

ジプライト

ロングセラーの硫酸カルシウム資材！あらゆる作物にオススメです。